

ソフトウェア等の脆弱性関連情報に関する届出状況 [2013年第4四半期(10月～12月)]

～2013年のソフトウェア製品の脆弱性届出の約半数が Android アプリの脆弱性～

IPA（独立行政法人情報処理推進機構、理事長：藤江 一正）および JPCERT/CC（一般社団法人 JPCERT コーディネーションセンター、代表理事：歌代 和正）は、2013年第4四半期（10月～12月）の脆弱性関連情報の届出状況^(*)を「ソフトウェア等の脆弱性関連情報に関する活動報告レポート」としてまとめました。

<http://www.ipa.go.jp/security/vuln/report/vuln2013q4.html>

<https://www.jpccert.or.jp/report/press.html>

脆弱性届出件数

2013年第4四半期の脆弱性情報の届出件数は307件で、内訳はソフトウェア製品に関するものが88件、ウェブサイト（ウェブアプリケーション）に関するものが219件でした。これにより、2004年7月の届出受付開始からの累計は、ソフトウェア製品に関するものが1,749件、ウェブサイトに関するものが7,584件、合計9,333件となりました。また、2013年の1年間におけるソフトウェア製品に関する届出は、2012年の184件から大幅に増え、282件となりました。これは過去最多だった2006年の285件に匹敵する件数です。

脆弱性修正完了件数

届出のうち2013年第4四半期に修正を完了したものは、ソフトウェア製品については34件（修正完了率54%）、ウェブサイトについては189件（修正完了率72%）でした。また、2013年の1年間におけるソフトウェア製品の修正完了件数は127件で、過去最多となりました。

脆弱性届出の傾向：ソフトウェア製品の約半数が Android アプリの脆弱性（レポート1-4.参照）

2013年の1年間で脆弱性として受理したソフトウェア製品の届出253件のうち、約半数の117件は Android アプリに関するものでした。昨年まで届出全体に占める Android アプリの割合は20%未満でしたが、2013年には急増しました。また Android アプリの脆弱性には Android OS が提供するアクセス制限等の機能の理解不足に起因する「Android 特有の脆弱性^(**)」が46%と約半数を占めていることから、アプリ開発においては、従来から知られている脆弱性だけでなく、Android 特有の脆弱性についても対策が必要です。

■ 本件に関するお問い合わせ先
IPA 技術本部 セキュリティセンター 渡辺／大森
Tel: 03-5978-7527 Fax: 03-5978-7518
E-mail: vuln-inq@ipa.go.jp
JPCERT/CC 情報流通対策グループ 古田
Tel: 03-3518-4600 Fax: 03-3518-4602
E-mail: office@jpccert.or.jp

■ 報道関係からのお問い合わせ先
IPA 戦略企画部広報グループ 横山／白石
Tel: 03-5978-7503 Fax: 03-5978-7510
E-mail: pr-inq@ipa.go.jp
JPCERT/CC 事業推進基盤グループ 広報 江田
Tel: 03-3518-4600 Fax: 03-3518-4602
E-mail: pr@jpccert.or.jp

(*) ソフトウェア等脆弱性関連情報取扱基準：経済産業省告示に基づき、2004年7月より開始しました。IPAは届出受付・分析、JPCERT/CCは国内の製品開発者などの関連組織との調整を行っています。

(**) Android OS が提供するアクセス制限等の機能の理解不足に起因する脆弱性。